

今求められているユーザー目線のサービス設計

～多様な課題に対応するサービスデザイン思考～

近年、デジタル技術の発展により、区民からの行政サービスへの期待水準が年々高度化・多様化しています。そのため、より区民のニーズに沿った行政サービスが必要となっています。サービスデザイン思考とは、サービスを利用するユーザー（区民）やサービスを提供する行政職員の視点に立って、求めるニーズや価値を考え、ユーザーの満足を得られるようなサービスを展開するという考え方です。

本研修では、行政サービスにおけるサービスデザイン思考について考察し、よりニーズに沿った行政サービスの検討方法や事例についてお話していただきます。

講師：小山田 那由他 氏



株式会社コンセント

サービスデザイナー／コンテンツデザイナー

～講師プロフィール～

2004年東京造形大学造形学部デザイン科卒業。同年株式会社コンセントに入社、現在に至る。Service Design div. Strategic Design Group マネージャー、サービスデザイナー／コンテンツデザイナーとして、企業・行政組織のサービス開発・改善支援、デザイン組織化支援に従事。武蔵野美術大学ソーシャルクリエイティブ研究所客員研究員。HCD-Net 認定 人間中心設計専門家。公共分野でのサービスデザインアプローチを研究・実践するコンセント「PUBLIC DESIGN LAB.」責任編集。著書に『これからのデザイン思考』（MdN、2021年）がある。

日時

令和6年2月19日（月）

14:30～16:30

場所

特別区職員研修所 5階

（千代田区九段北 1-1-4 東京区政会館別館）

対象

管理職及び係長級職員。ただし、受講を希望する主任も可。

申込

申込は各区・事務組合研修担当まで。